

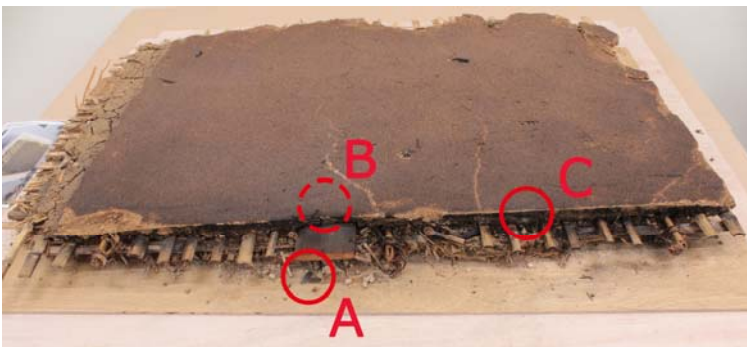
# 新たに見つかったガラス片

現在、広島平和記念資料館本館に「ガラス片が突き刺さった壁」が展示してあります。この壁は、爆心地から2,200メートル離れた住宅のもので、原爆の強烈な爆風により割れた窓ガラス片が突き刺さりました。壁の表面には2カ所ガラス片が突き刺さっています。

今回、本館の展示リニューアルに合わせ、劣化を防ぎ長期間展示できるように資料の保存処理を行ったところ、その作業の過程で壁から新たに16片のガラス片が見つかりました。

ガラス片が見つかった場所

## 表面



Aの場所から見つかったガラス片。

壁から脱落した状態で見つかりました。



Cの場所から見つかったガラス片。

壁の縁に付着した状態で見つかりました。



Bの場所から見つかった  
ガラス片。

板材の裏から見つかりま  
した。

## 背面



Dの場所から見つかったガラス片。

壁の背面から見つかりました。



写真：(株)スタジオ三十三提供